

ボローニャ大学 協定留学（交換留学）月例報告書（2022年9月）

文化政策学部 国際文化学科4年 外川内瑞季

2022年9月1日に出国し、2日の午後にボローニャに到着した。

私がイタリアへの留学を志した理由の一つに、過去にヨーロッパを訪れた経験が影響している。そのときに見たヨーロッパの風景や街並みが、私にとっては非常に美しく見えて、また必ずヨーロッパに行きたい、と望んでいた。

そしていまは、見たかったものをこの目で見ている、ということをして、とても強く感じている。到着直後に、先にボローニャに着いた友人と会い、旧市街の街並みやマッジョーレ広場、サン・ペトロニオ聖堂を見た。昨日まで浜松市にいたということもあり、正直、感情が追いつかなかったことを覚えているが、それでも、自分が憧れ続けていたものが目の前に広がっていることに、とても感動した。大学や語学学校は中心地に位置しているため、世界遺産に登録されているポルティコ、ボローニャの斜塔、ボローニャ市立歌劇場などを毎日見ながら通学しているが、日々、その美しさに感動している。



到着後の一週間で、大学のチェックインや滞在許可証などの手続きを済ませたあと、2週目からは私立の語学学校に通った。また、大学の授業が19日から始まったため、いくつかの授業にも参加した。

語学学校では、さまざまな国から来られた方々と出会った。日本人の方との出会いもあった。授業では、前半に文法を集中的に学び、近くのバールで休憩をして、後半は語彙や細かい文法をゲーム形式で勉強することが多かった。ディベートや、それぞれの出身国の文化についてイタリア語で話す時間もあった。また、語学の勉強だけではなく、イタリアの文化についても学んだ。特に、イタリア人の食文化について教えてもらったときはかなり白熱したため、さすが美食の街ボローニャである、と感じた。アクティビティーで街をめぐったり、Museo di San Colombano という、古楽器博物館を訪れたりした。

一ヶ月間海外に滞在して、学んだことは多くある。特に大きな学びは、「分からないことを恐れずに聞くこと」の大切さだ。語学学校や大学の授業では、質問があればすぐに聞く人ばかりである。言った者勝ち、という印象も覚えた。とにかく意思表示をすること、黙っては何も伝わらない、ということ強く感じた。このことを痛感して、私も授業中、少しでも疑問に思うことがあれば、すぐに聞いてみることを心がけるようになった。

学校に限らず、日々の生活のなかでも、外国人である私にとっては分からないことばかりである。正直、いまはスマートフォンで検索すれば、人に聞かなくても解決できることが多い。しかし、口があるから、目の前に人がいるから聞いてみよう、と考えるようになり、知らない人にもイタリア語で話しかけられるようになった。これは、過去の自分自身と比較すると成長した点である。バスの乗り方、切符の使い方、ゴミの出し方、欲しい商品について、などを聞いてみたが、イタリアの方々には親切に教えてくださった。この経験は、何よりもイタリア語を話せた、伝わった、という自信になった。今後も、積極的にイタリア語を話し、よりコミュニケーションをとれるよう、努めていきたい。

9月25日、イタリアでは総選挙が行われた。私は卒業研究で、EUやイタリアの移民政策について取り上げる予定であるが、移民政策は政権によって左右されるため、個人的にこの選挙に注目していた。結果として、極右と呼ばれる政党が第一党となり、イタリア初となる女性首相の就任が見込まれている。

家の近くにも選挙ポスターが掲示されていたり、歌劇場前の広場では政党の集会が開かれたりと、選挙中の様子を肌で感じる場面が多かった。さらに、語学学校では初日から、政治に関する話題が出たことにも驚いた。私がEUや移民について関心がある、と話すと、先生から、「瑞季は選挙の結果についてどう思う？」と質問された。そして、バール



でイタリアの政治や選挙制度について教えていただいた。また、ルームメイトの同世代のイタリア人の方とも、政治について話をした。このように、政治に関してイタリア人の意見を直接聞いたことは、私にとって非常に良い学びになった。同時に、この時期にイタリアにいたことは、とても貴重なことである、と強く感じた。この機会を最大限に活用して、自身の学びや卒業研究に必ず活かしたい。

10月からは、大学付属の語学学校（CLA）と、大学の授業を受ける。大いに学びつつ、健康に過ごしていきたい。



サン・ペトローニオ聖堂のライトアップです。ロッシーニの《ウィリアム・テル序曲》に合わせて、非常に美しいプロジェクションマッピングが施されました。素晴らしかったです！



語学学校の皆さんと。毎回のバル休憩では、イタリア語や英語を使って、色々な話をしました。さまざまなバックグラウンドをもつ方々との交流は、とても刺激的でした。



選挙ポスター。×印が投票を表すことを初めて知りました。選挙が終わった今も、貼られたまま残っています。